

主任介護支援専門員研修 提出事例

受講者氏名	茨城 花子			
基礎資格 (主な資格を記載する)	介護福祉士			
所属事業所 (職名)	○△※×支援センター (管理者)			
事業所連絡先	住所 〒000-0000 茨城県〇〇市〇〇 777 番地の 7			
	TEL	0000-00-0000	FAX	0000-00-0000
E-MAIL	aaakkkbbb@nnnl.ne.jp			
介護支援専門員としての実務経験	7 年 4 カ月			
事例提出者の所属機関の役割と主な業務内容	当法人は、〇〇を目指していることから、当居宅介護支援事業所でも同じ方針に沿って運営されている。特に、地域への貢献について力を入れている。事業所は、私も含め4人の介護支援専門員が所属している。私は、管理者としての業務と介護支援専門員として35人の担当をしている。その他、月 1~2 件程度の要介護認定調査も担っている。			
事例提出者の置かれている状況・立場等	管理者として、3人の介護支援専門員が担当している方の把握、3人の介護支援専門員からの相談や支援についての指導をしている。3人とも、実務経験年数が異なることから、その経験に合わせて指導することは、自分自身の業務をしながら行うため、負担が大きく、きちんとできているか心配である。			

支援困難になった主な要因3つまで選択 (表1より記載)	3	11	15	※該当○をつける ①.継続事例 2.終結事例
提出する事例を理解する上で参考となる地域特性について記載してください。				
<p>〇〇市の高齢化は29%となっており、他の市町村と同じように人口が減っている。要介護認定率は14%台で県内でも低い方である。</p> <p>特徴としては、東京をベッドタウンとする振興住宅地と農村地域とに分かれている。農村地域では、何代もそこで住んでいる方のため、地縁や血縁が強い地域である。近隣に親類縁者がおり、また幼少期から知っている間柄である方も多い。一方振興住宅地では、昭和50年代から整備された地域であることから、地縁や血縁はあまり強くない。サラリーマン家庭が多く、地域での行事もあまり活発ではない。今回の事例は、振興住宅地にお住まいの方である。その新興住宅地は、昭和50年代から整備されているが、世代が代わり住宅を建て直す家も出てきている。近隣は退職している方が多く、新興住宅地でも高齢者が増えてきている地域でもある。しかし、退職された方がボランティアや防災ボランティアなど活動が活発になってきているような面もみられる。</p> <p>医療機関としては、二次救急医療機関が1か所ある。訪問診療については、いくつかのクリニックが行っており、相談しやすい環境にある。訪問看護ステーションは2か所しかなく、受け入れが出来ない場合もあるため、その場合は市外の訪問看護ステーションを依頼する場合もある。</p>				